

## 小田原市における森林環境譲与税の活用について

### ■活用状況

区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額(円)	121,025,000	36,414,000	157,439,000	100%	
譲与額(円)	121,025,000	36,414,000	157,439,000		

### ■令和6年度の具体的な活用状況

事業区分	事業名	事業費(円)		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
木材利用および 普及啓発	学校木の空間づくり 事業	28,812,831	16,100,831	地域産木材の利用拡大を図るため、学校施設を対象に、内装木質化を進める。
	民間建築物小田原 産木材利用促進事 業	4,000,000	4,000,000	小田原産木材の利用拡大、木の良さのPR及び市民の木材利用に関する意識向上を図るため、多くの市民等が利用する民間建築物において、小田原産木材を利用した建築、木質化により木材を積極的かつ効果的に活用する取組に対して補助金を交付する。
	森のせんせい養成・ 派遣事業	218,000	218,000	森林・林業・木材産業に関する知識を備え、市民に対して普及啓発を図ることができる人材の派遣を実施。
	わたしの木づかい事 業	2,621,373	2,004,548	市内小学生を対象に「森林教室」「校外学習」「箸づくり」などのプログラムを通して、森林の働きや森林整備の必要性、地域産木材を積極的に使うことの意義などについて学ぶ森林環境教育を実施。
	森のおくりもの事業	1,746,860	1,746,860	乳幼児への誕生祝い品として小田原産ヒノキで製作したおもちゃを進呈し、感性豊かな乳幼児から木に親しむ環境を醸成する取組。
	きまつり事業	180,000	180,000	小田原市いこいの森、フォレストアドベンチャー小田原、わんぱくらんどを会場として、木育をメインテーマとしたイベントを実施。
	いこいの森管理運営 事業	13,929,821	12,163,761	森林を市民の保健・休養の場として活用し、森林の有する公益的機能の啓発・緑化思想の普及高揚を図るとともに林業の振興に資するいこいの森の管理運営。
合計		51,508,885	36,414,000	

### ■今後の主な活用計画

#### 木材利用および普及啓発

- ・学校の内装木質化
- ・木育による普及啓発活動
- ・民間建築物への地域産木材の利用に対する補助金